

## 第2章

本庄市の子ども・子育て環境の状況



## 第2章 本庄市の子ども・子育て環境の状況

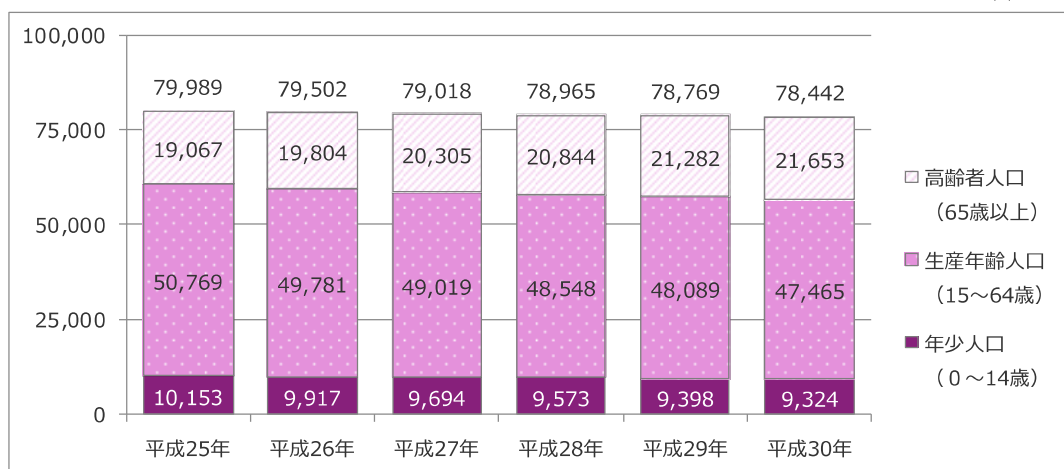
### 第1節 本市の姿

#### (1) 人口構造

平成25年から平成30年までの人口の推移をみると、総人口は微減で推移しています。年少人口についてみると、平成26年には1万人を割り込み、現在も減少傾向が続いていることがわかります。

■年齢3区分別人口の推移■

単位：人

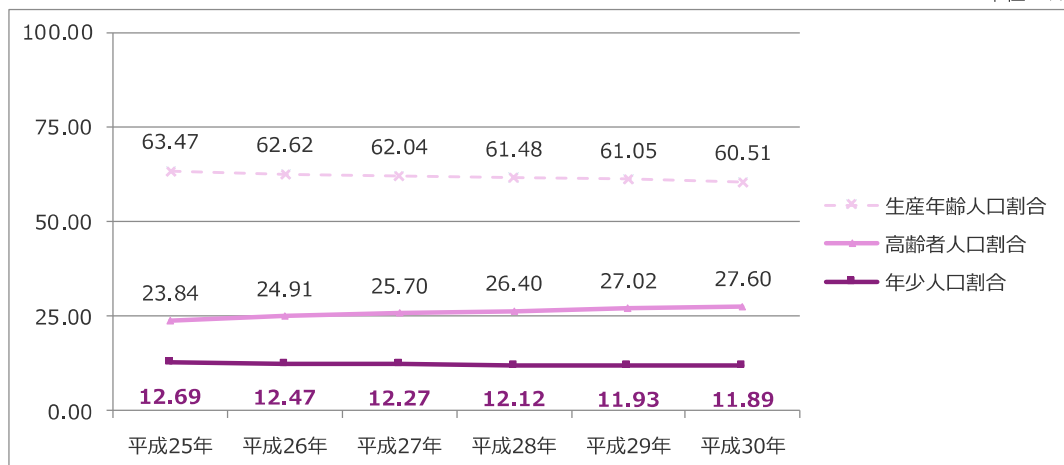


資料：住民基本台帳人口（各年10月1日）

年齢3区分別人口割合でみると、少子化に伴って年少人口割合はわずかに低下傾向がみられます。

■年齢3区分別人口割合の推移■

単位：%

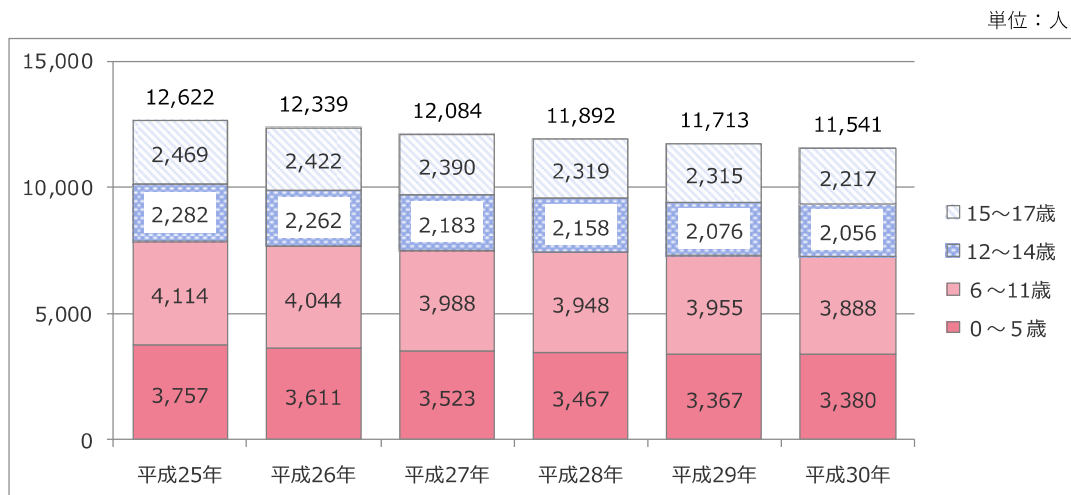


資料：住民基本台帳人口（各年10月1日）

## (2) 子どもの人口

子ども（18歳未満）の人口についてみると、どの年齢層でも減少傾向が続いています。

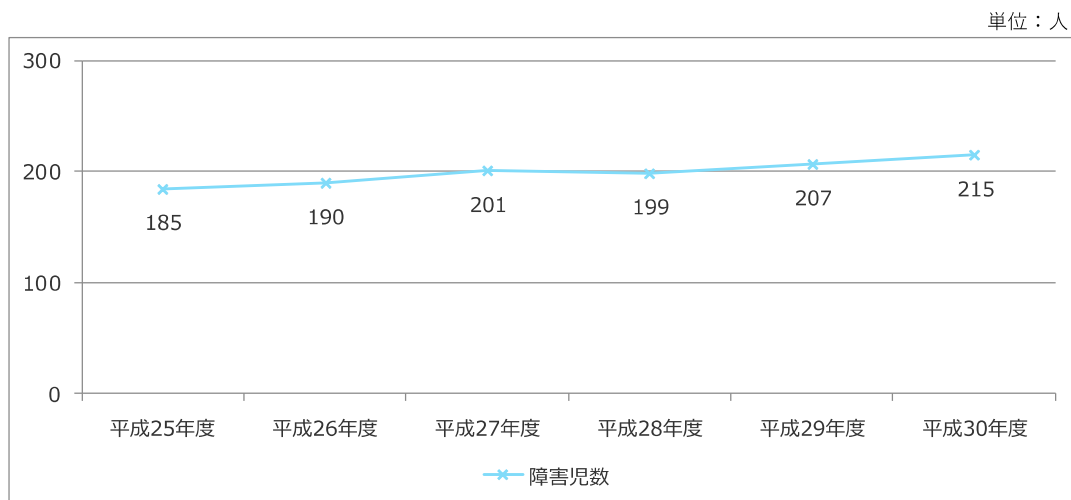
### ■子ども人口の推移■



資料：住民基本台帳人口（各年10月1日）

障害のある子ども（障害児）についてみると、やや増加傾向にあることがわかります。

### ■障害児数の推移■

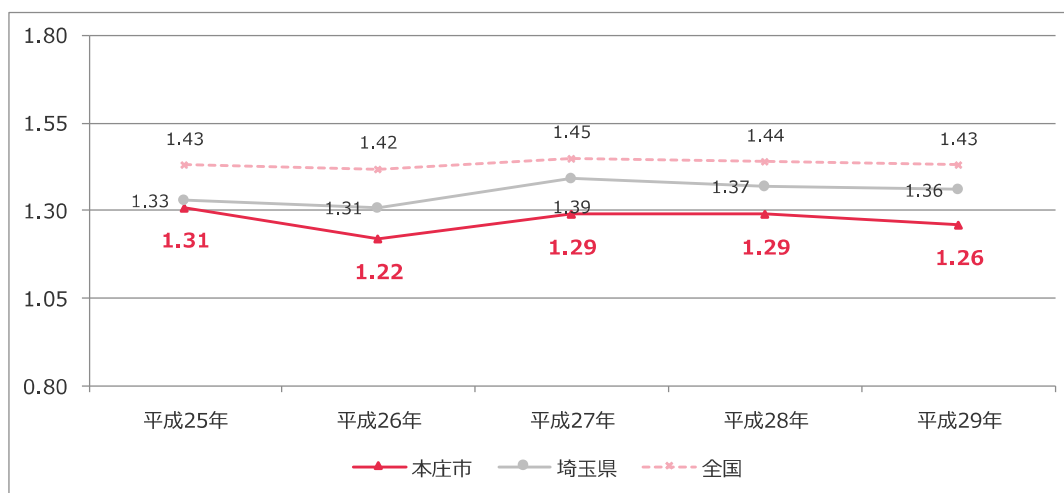


資料：障害福祉課（各年度末）

### (3) 出生の動向

近年の合計特殊出生率をみると、概ね 1.25 程度となっており、全国、埼玉県の数よりも低い水準で推移しています。国立社会保障・人口問題研究所が公表している「人口統計資料集（2019年版）」によれば、人口を維持するために必要な合計特殊出生率（人口置換水準）は 2.06 となっており、自然減は今後も長期的に続くことが想定されます。

■ 合計特殊出生率の推移 ■



資料：「埼玉県の人口動態概況」（全国及び埼玉県の値のみ。）

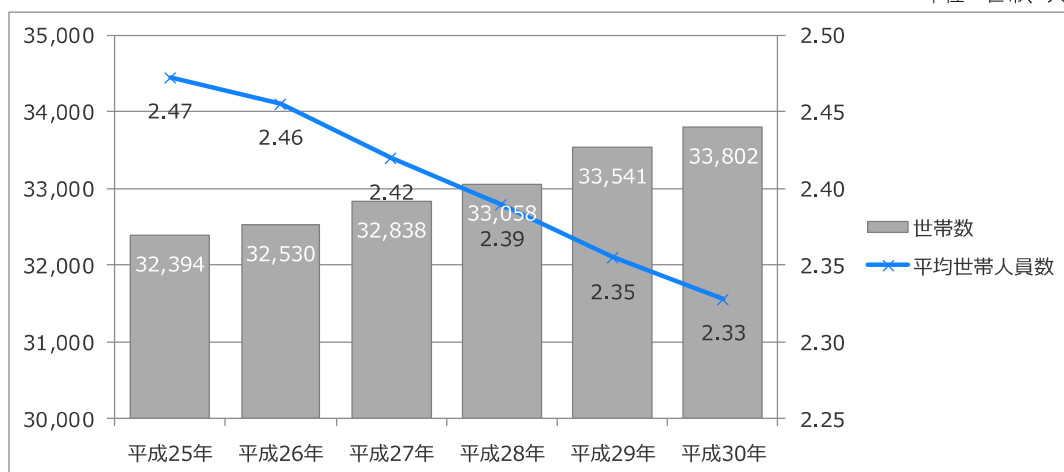
本庄市は、市で独自に算出した値を掲載。（母親の年齢別出生数は厚生労働省「人口動態統計」、女性人口は住民基本台帳人口（15歳から49歳まで、各年1月1日）より算出。）

### (4) 世帯の状況

本市の世帯数と平均世帯人員数の推移をみると、世帯数は一貫して上昇傾向にあるのに対し、総人口の減少が続いているため、平均世帯人員数は低下傾向にあります。

■ 世帯数と平均世帯人員数の推移 ■

単位：世帯、人



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年1月1日）

世帯類型でみると、一般世帯数は3万世帯前後で推移していますが、「うち男親と子どもからなる世帯」と「うち女親と子どもからなる世帯」が増加傾向にあり、ひとり親世帯が増加していることがわかります。子どもとその保護者を社会全体で支える仕組みの重要性が高まっていることがうかがえます。

### ■世帯類型別世帯数の推移■

単位：世帯

	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
一般世帯数	29,197	32,161	30,943
うち核家族世帯	17,496	17,533	17,773
うち夫婦のみの世帯	5,225	5,526	5,857
うち夫婦と子どもからなる世帯	9,551	9,082	8,868
うち男親と子どもからなる世帯	452	470	504
うち女親と子どもからなる世帯	2,268	2,455	2,544

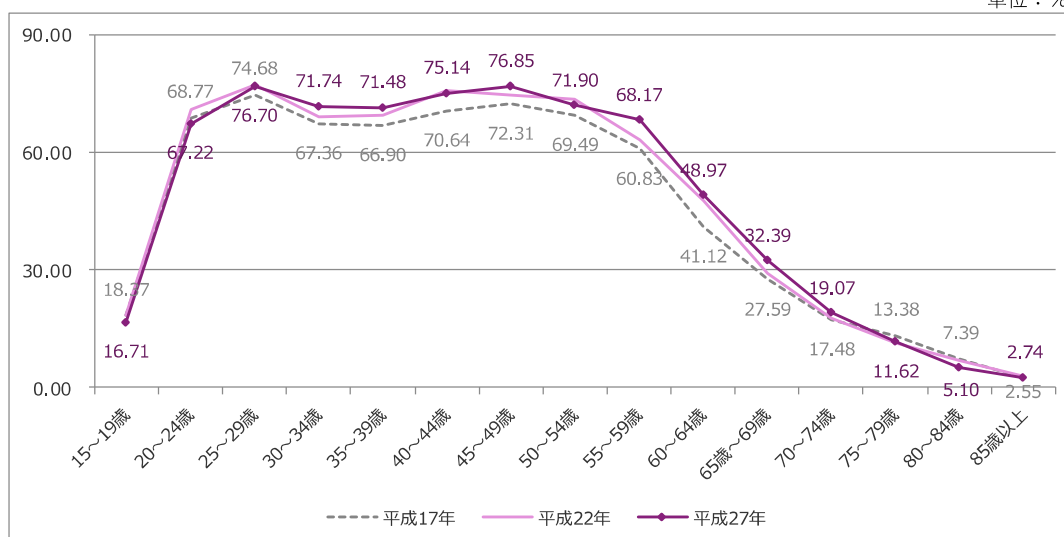
資料：国勢調査

### (5) 女性の労働力率

本市の女性の労働力率をみると、平成 27 年は、10 年前と比較して全体的に上昇傾向にありますが、30 代で労働力率が低下する「M字カーブ」現象は続いていることがわかります。

### ■女性の労働力率の推移■

単位：%

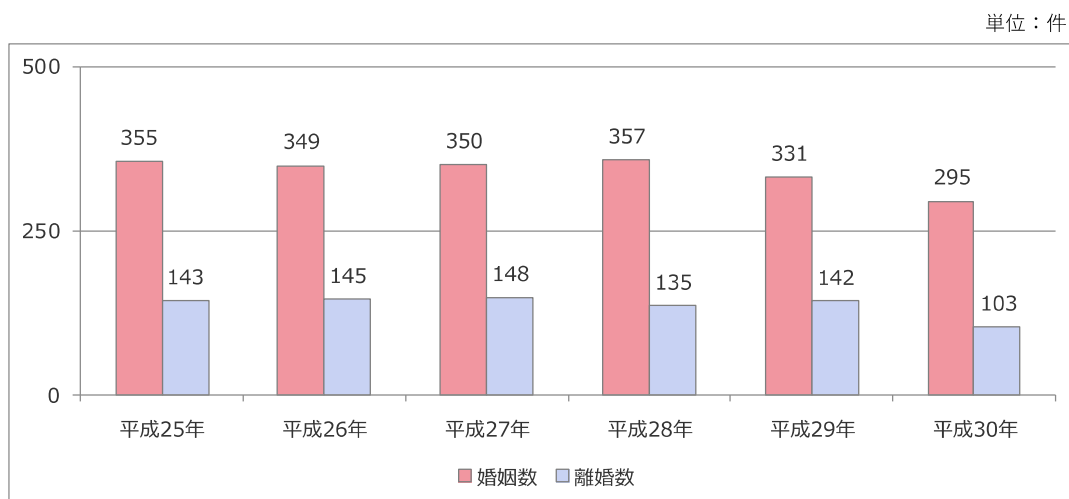


資料：国勢調査

## (6) 婚姻の状況

近年の婚姻数をみると、300件から350件程度で推移しています。また、離婚数については、140件前後で推移しています。

■婚姻数・離婚数の推移■

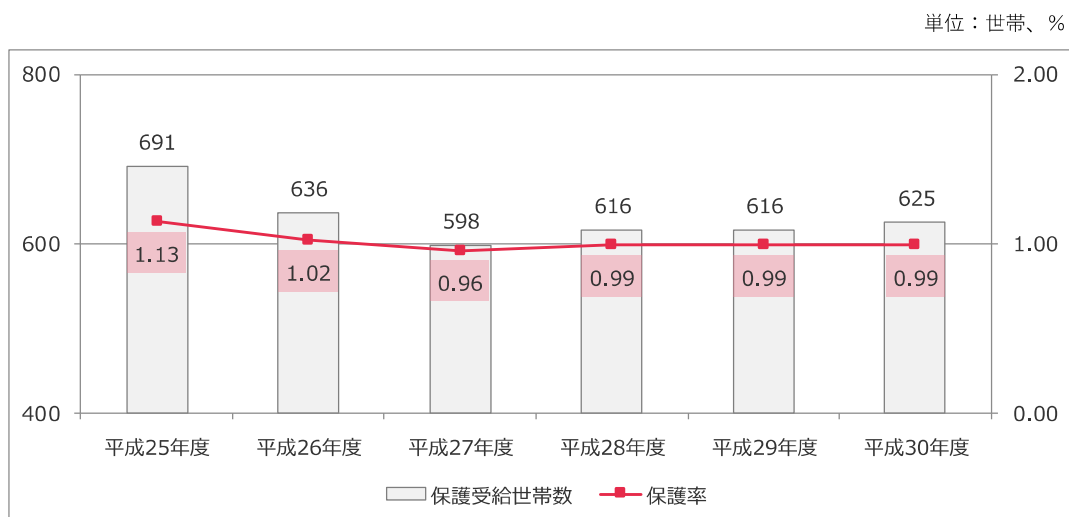


資料：「埼玉県の人口動態概況」（平成30年は概数。）

## (7) 支援を必要とする人の状況

生活保護世帯数の推移をみると、平成25年度は700世帯弱となっていましたが、平成27年度以降は600世帯前後で推移しています。また、保護率でも、平成27年度以降は1%未満となっています。

■保護受給世帯数と保護率の推移■



資料：生活自立支援課

## 第2節 本庄市における子ども・子育て支援の状況

### (1) 保育所の設置状況・利用状況

市内に設置されている保育所は、公立、私立を合わせて現在19園となっています。在籍児童数が定員数を上回る状態が続いていますが、待機児童はこの6年間で発生していません。

#### ■保育所の設置状況・利用状況■

単位：園、人、%

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
公立保育所	5	4	3	3	2	2
私立保育園	16	17	18	18	17	17
計	21	21	21	21	19	19
定員数	1,930	1,925	1,946	1,946	1,796	1,796
在籍児童数	2,033	2,027	2,022	2,065	1,981	1,969
入所率	105.34	105.30	103.91	106.12	110.30	109.63
待機児童数	0	0	0	0	0	0

資料：保育課（各年10月1日）

### (2) 幼稚園の設置状況・利用状況

市内に設置されている幼稚園は、私立幼稚園のみで、現在6園となっています。平成30年度には設置数は6園、定員数は880人となっています。

#### ■幼稚園の設置状況・利用状況■

単位：園、人

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
公立幼稚園	0	0	0	0	0	0
私立幼稚園	8	8	7	7	6	6
定員数	1,070	1,070	1,070	1,040	880	880
在籍児童数	800	818	631	596	482	466

資料：学校教育課（各年5月1日）



(3) 認定こども園の設置状況・利用状況

「認定こども園」とは、幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持つ施設です。本市に設置されている認定こども園は私立のみで、平成 29 年度から 2 園が設置されています。

■認定こども園の設置状況・利用状況■

単位：園、人

	平成 28 年度以前	平成 29 年度	平成 30 年度
認定こども園設置数	0	2	2
定員数（2号・3号）	0	107	107
在籍児童数（2号・3号）	0	128	130
定員数（1号）	0	83	83
在籍児童数（1号）	0	61	61

資料：保育課（各年 10 月 1 日）

(4) 学童保育施設の設置状況・利用状況

学童保育施設の設置数は、平成 25 年度より増加しており、公立・私立を合わせて現在は 23 箇所設置されています。登録児童数も増加傾向にあり、現在は 1,000 名程度が登録しています。

■学童保育施設の設置状況・利用状況■

単位：箇所、人

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
設置数	18	19	22	23	23	23
定員数	751	796	897	937	982	914
登録児童数	786	806	857	968	1,000	988

資料：子育て支援課（各年 4 月 1 日）

(5) 子ども食堂・学習支援の実施状況

市内では現在、子ども食堂が 1 箇所、学習支援が 3 箇所で開催されています。

■子ども食堂・学習支援の実施状況■

単位：箇所

	平成 26 年度以前	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
子ども食堂 実施箇所数	0	0	1	1	1
学習支援 実施箇所数	0	2	2	2	3

資料：子育て支援課・生活自立支援課（各年 4 月 1 日）

## 子ども食堂

- 地域住民や自治体が主体となり、無料または低額で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場を指します。近年は子どもに加えて地域の大人や高齢者なども対象者に含まれるケースもあり、地域住民の集いの場としての役割も期待されています。
- 本市では、平成28年から「どんぐり子ども食堂」、令和元年から「子ども食堂よってんべえ」、計2箇所が運営されています。



## 学習支援

- 子どもの将来を見据え、進学等に向けた学習支援だけでなく、子どもと保護者の双方に、日々の居場所づくりや生活習慣の改善、就労を含めた進路相談などを行う取り組みです。
- 本市では、生活困窮者自立支援制度に基づく「子どもの学習・生活支援事業」を実施しています。

